

2003 (平成 15) 年 10 月 4 日

うずまさ

太秦遺跡現地公開資料

財団法人 大阪府文化財センター

財団法人大阪府文化財センターは国土交通省・日本道路公団の委託を受けて、第二京阪道路（北大阪道路）建設に伴う発掘調査を実施しています。

太秦遺跡は寝屋川市国守町と打上にあります。2001 年度にすでに北東部分を調査しており、13 基の古墳が見つかりました。今年度の調査区からは、新たに古墳 12 基と弥生時代の竪穴住居跡 1 棟が見つかりました。

○どんな古墳が見つかったの？

平面の形は方形(方墳)と円形(円墳)があります。古墳の周りに巡る溝（周溝）が見つかりましたが、古墳本体の土を盛った部分はすでに削られており、人を葬った棺や石室などの施設は残っていませんでした。古墳の配置をみると周溝を密着させたり、向きを揃えて並んでいます。葬られた人たちの密接な関係をうかがうことができます。

○古墳から埴輪や土器は出土しましたか？

周溝から埴輪と須恵器が出土しました。埴輪は 17 号墳の周溝から多量に出土しています。細かく割れた破片ばかりですが、円筒埴輪と朝顔形円筒埴輪の 2 種類あることがわかりました。古墳の上に立ち並んでいたものが崩れ落ちたと考えられます。その他の古墳から埴輪はほとんど出土していません。

○弥生時代の竪穴住居跡はどんなかたち？土器は？

1 辺 約 3 m × 4 m の長方形をしています。地面を掘りくぼめて作っています。内部から高坏や壺や甕が出土しました。

○今回わかった古墳や竪穴住居跡はいつごろのもの？

古墳は埴輪や土器の観察より古墳時代中期の中頃から後半（約 1,550 年前）に造られたことがわかりました。また、竪穴住居跡は土器の観察から約 2,000 年前の弥生時代中期のものであることがわかりました。

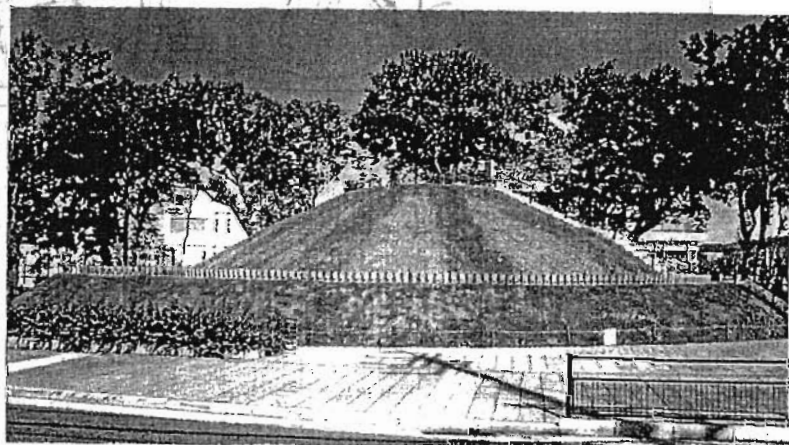
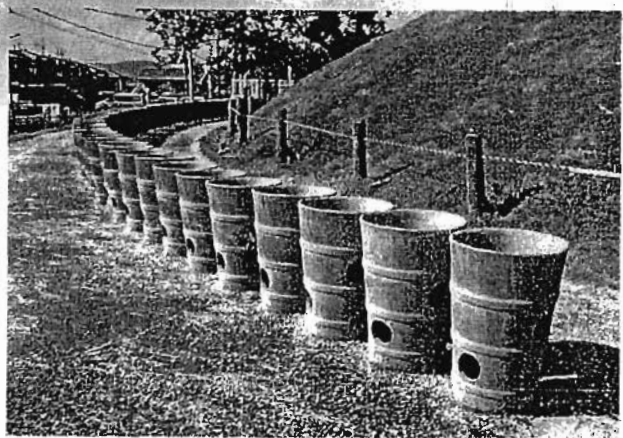
○周辺の調査でわかっていることを教えてください。

2001 年度の調査地で 13 基の古墳が見つかりましたので、これで合計 25 基の古墳が発見されました。太秦古墳群は豊野浄水場横に復元整備されている高塚古墳をはじめ、いくつかの古墳が以前から知られていましたが、今回の調査によって、方墳がかなり密集して造られていたことがわかりました。

弥生時代の竪穴住居は調査地内で 1 棟だけしか、見つかりません。今後の調査によって増加することも考えられます。また、西隣の大尾遺跡では弥生時代中期の方形周溝墓群も見つかりました。



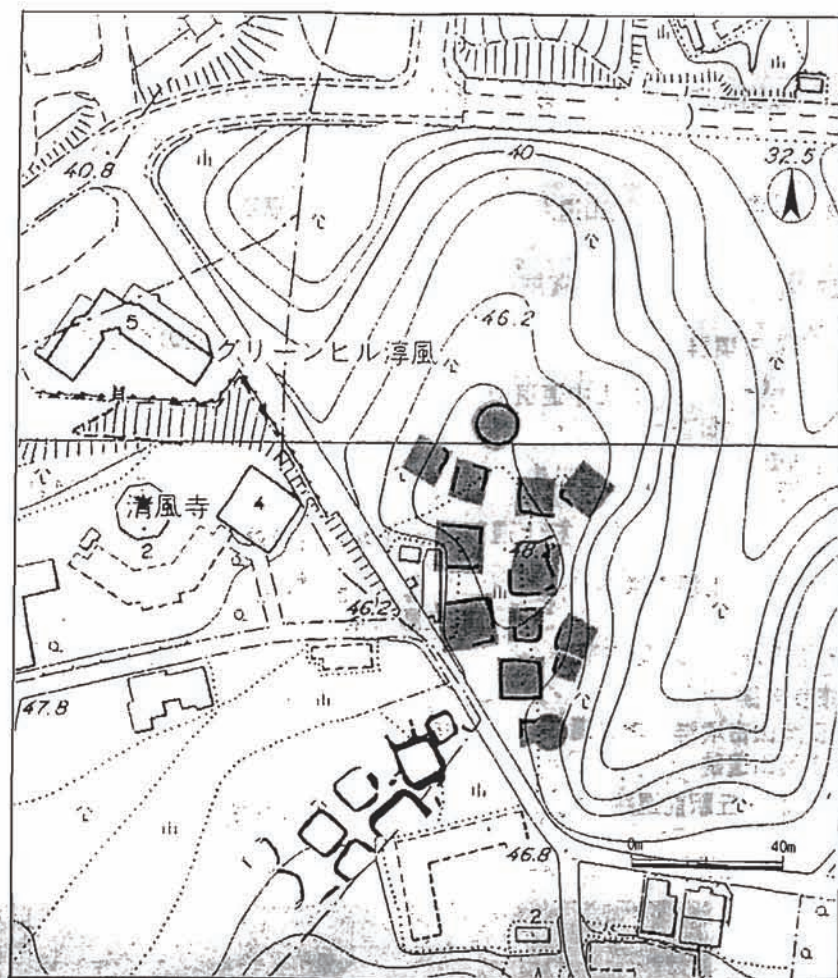
周辺の遺跡 (S=1/25,000) 上が北



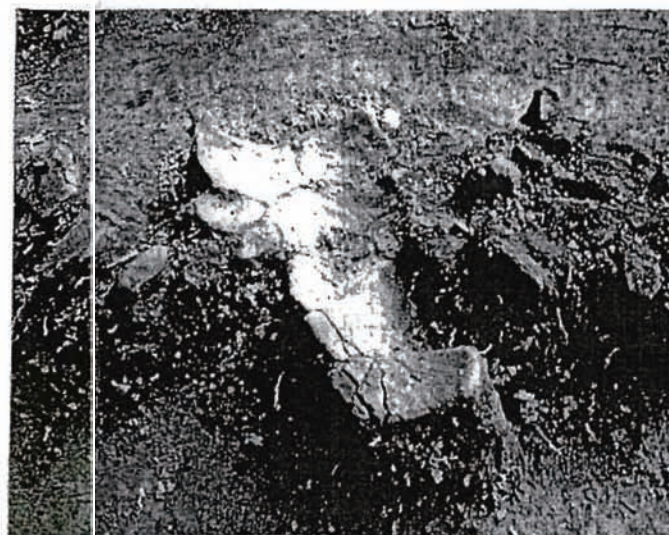
○復元整備された太秦高塚古墳
埴輪がびっしりと並んでいた状況が
復元されています。



○17号墳の周溝に
たくさんの埴輪が埋まっていました。
当時は高塚古墳のように
巡っていたのでしょうか。



○発掘調査で明らかになった古墳の配置



○17号墳から
出土した円筒埴輪



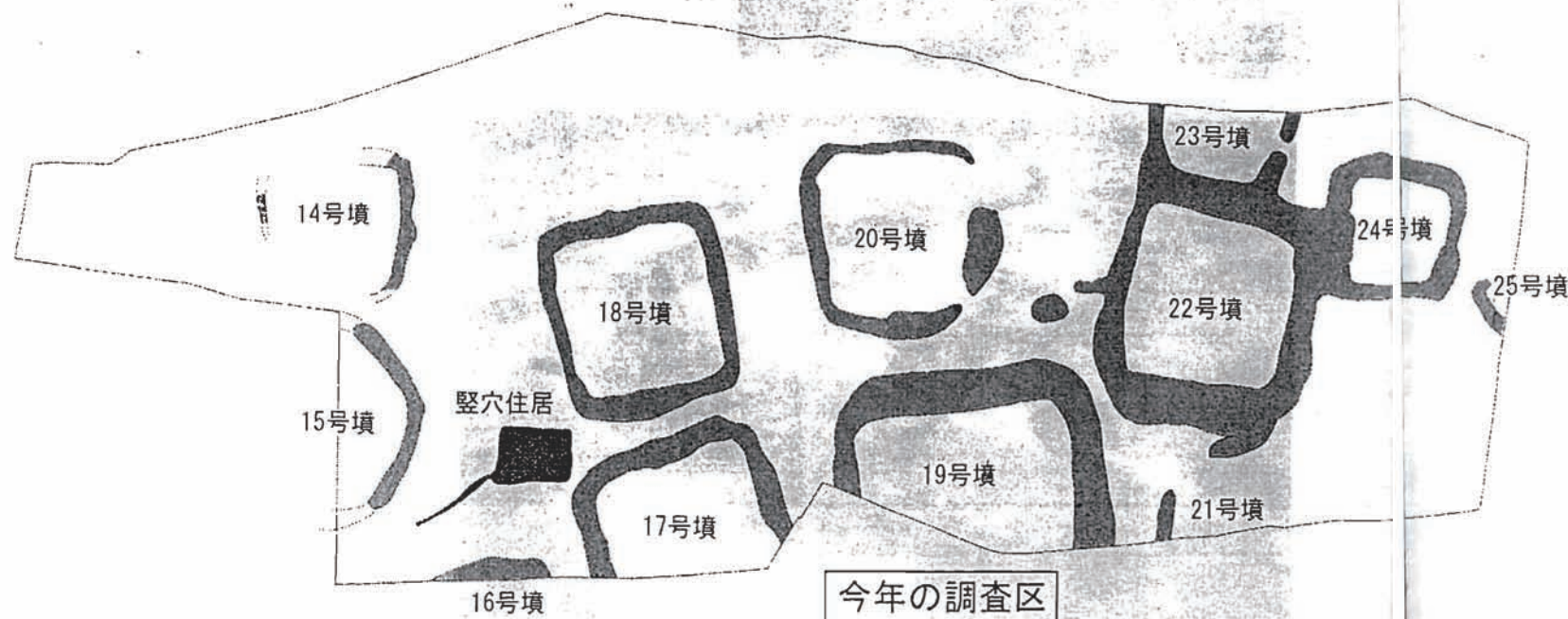
○17号墳の周溝から
多くの埴輪が出土しました。



2001年度の調査地



○弥生時代の竪穴住居から
高坏、壺、甕が出土しました。



今年の調査区

■ 弥生時代中期 (竪穴住居跡)

■ 古墳時代中期 (古墳)

0 S=1/400 20m